



樹木



ウグイスカグラ 鶯神楽

科名: スイカズラ科

花期: 4月～5月

落葉低木。

春に淡紅色の漏斗状の花を下向きにつける。初夏に熟す赤い果実は生食できる。冬には葉のつけ根が広がって鏢状になる。



コブシ 辛夷

科名: モクレン科

花期: 3月～5月

落葉高木。

早春、まだ葉を開く前に、枝一杯に白い花をつける。かつて北国では農作業を始める目安になっていた。果実がこぶ状で拳に似ていることが名前の由来である。



ヒサカキ 柃、姫柃

科名: モッコク科

花期: 3月～4月

常緑小高木。

葉の腋に淡黄色の花を下向きにつける。雄花は壺型、雌花は鐘型で都市ガスに似た独特の臭いがする。サカキがない関東以北では玉串や仏花として利用されている。





ニワトコ 接骨木

科名:レンプクソウ科

花期:3月~5月

落葉低木。

春に房状の黄白色の花をつける。夏に果実が赤く熟す。髄は顕微鏡の試料を作る時に支持材として使われる。



クロモジ 黒文字

科名:クスノキ科

花期:3月~4月

落葉低木。

秋には黄葉する。春に新芽と同時に黄緑色の花をつける。若枝は緑色で黒い斑紋がでる。枝に芳香があり高級楊枝の材料となる。



クサボケ 草木瓜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉小低木。

春の訪れを告げる花のひとつ。鮮やかな朱紅色の花をつける。果実は黄色で芳香があり薬用酒などにされる。日本の自生種で、中国原産のボケより小さい。別名シドミ、ジナシ。





ヤマザクラ 山桜

科名:バラ科

花期:3月~4月

落葉高木。

日本の桜の代表的な基本野生種。吉野の桜も本種。葉芽と花が同時に開くことが多い。若葉や葉柄に赤みがある。



イヌザクラ 犬桜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉高木。

樹皮の色から別名シロザクラ。花は白いブラシ状で、よく似たウワミズザクラと違い花序の下部に葉がない。中山のイヌザクラは「府中の名木百選」。



ウワミズザクラ 上溝桜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉高木。

白く小さな花が集まりブラシ状の花穂になる。花序の下部に葉がつくのがイヌザクラと違い、樹皮は黒い。果実は赤から黒に熟し果実酒などに使われる。



サルトリイバラ 猿捕蒺

科名:サルトリイバラ科

花期:4月

落葉つる性木本。
雌雄異株で春に淡黄色の花をつけ、秋に果実が赤くなる。茎には棘がある。関西以西では丸い葉を柏餅を包むのに使われている。別名サンキライ。



ヤマツツジ 山躑躅

科名:ツツジ科

花期:4月~5月

半常緑低木。
日本の野生ツツジの代表種。花は朱色。春葉は秋に落葉し、春葉より小さい夏葉は越冬する。そのため半常緑といわれている。



イヌシデ 犬四手

科名:カバノキ科

花期:4月~5月

落葉高木。
樹皮は灰白色で縦に網目模様がある。和名は花穂がしめ縄に使う紙垂(しで)に似るから。“おみたらし神社”のイヌシデは「府中の名木百選」。



コナラ 小楢

科名:ブナ科
花期:4月~5月

落葉高木。
浅間山の代表的な樹木。
春、若葉の芽吹きと同時に同株に雌雄の花をつけ、その年の秋にドングリになる。かつては薪や堆肥に利用されてきた。



クヌギ 栲、櫟

科名:ブナ科
花期:4月~5月

落葉高木。
花は雌雄同株で翌年の秋にドングリになる。ドングリは球状で、殻斗には線状の鱗片が多数ある。幹は厚いコルク状で縦に割れる。



カマツカ 鎌柄

科名:バラ科
花期:4月~6月

落葉小高木。
山地の日あたりのよい林縁に生える。枝先に約1cmの花を多数つける。名前の由来は、強靱で粘り強い材を鎌の柄にしたことから。別名ウシコロシ。



マユミ 檀、真弓

科名:ニシキギ科

花期:5月~6月

落葉低木。

雌雄異株。花は薄緑色で4弁の小花。果実は淡紅色で熟すと4裂して赤い種が現れる。紅葉も美しい。名前は材を弓にしたことから。



エゴノキ 野茉莉

科名:エゴノキ科

花期:5月~6月

落葉小高木。

春、多数の白い花を房状に下向きにつける。実がえぐいことから名前がついた。また果皮は有毒なサポニンを含んでいる。



ゴンズイ 権萃

科名:ミツバウツギ科

花期:5月~6月

落葉小高木。

花は黄緑色で小さい。秋に果実は赤く熟して肉質の果皮が裂け、黒い種が現れる。樹皮は黒紫色で白い縦長の筋が入る。





ミズキ 水木

科名:ミズキ科
花期:4月～5月

落葉高木。

枝をテーブル状に張り出し、独特の樹形となる。多数の白い花を上向きにつける。春先に多量の水を吸いあげることから名付けられた。



サワフタギ 沢蓋木

科名:ハイノキ科
花期:5月～6月

落葉低木。

よく溪流や湿地を覆うように枝を広げている。5月頃、長い雄しべが目立つ白い花を咲かせる。秋に美しい瑠璃色の実をつける。



イボタノキ 水蠟樹

科名:モクセイ科
花期:5月

落葉低木。

先が4裂した筒状の白い花が固まって咲く。葉は楕円形で柔らかい。樹皮に寄生するイボタロウムシからイボタ蠟をとり家具の艶出しに使用される。



ネジキ 振木

科名: ツツジ科

花期: 5月～6月

落葉小低木。

花序は水平、下向きに白い壺状の花を等間隔に咲かせる。名前は幹が振れることから。樹皮が縦に剥がれるので振れが判る。



ノイバラ 野茨

科名: バラ科

花期: 5月～6月

つる性低木。

野生のバラの代表種。ノバラともいう。花は白色あるいは淡紅色で長期間楽しめる。秋には果実が赤く熟す。



ヤマウコギ 山五加木

科名: ウコギ科

花期: 5月～6月

落葉低木。

雌雄異株。花は2mm程度で黄緑色。花柄は短く、花の固まりが葉に隠れる。幹に棘があり、果実は黒紫色。若葉は食用になる。





ガマズミ 莢蒾

科名:レンプクソウ科

花期:5月~6月

落葉低木。
明るい丘陵や草原に生える。葉は卵形で葉脈が目立つ。小さい白色の花が集って咲く。果実は赤く熟し食用となる。鳥も好む。



センダン 梅檀

科名:センダン科

花期:5月~6月

落葉高木。
成長が早い。薄紫色の小さい花を多数円錐状につける。黄褐色に熟した実は秋の落葉の後も残り、よく目立つ。



ウツギ 空木

科名:アジサイ科

花期:5月~6月

落葉低木。
白い花を房状につける。幹が中空であることから空木となった。別名ウノハナ。旧暦4月の卯月はウノハナの咲く月の意。



スイカズラ 吸い蔓

科名:スイカズラ科

花期:5月~6月

つる性常緑木本。

花は白色から黄色に変化する。よって金銀花とも言われる。また、別名のニンドウ(忍冬)は、常緑で冬を耐え忍ぶことから。



ムラサキシキブ 紫式部

科名:シソ科

花期:6月~8月

落葉低木。

日本各地の林などに自生する。薄紫色の小花の固りが対生の葉のつけ根から対になって出る。園芸種のコムラサキとよく間違えられる。



ヤマボウシ 山法師

科名:ミズキ科

花期:6月~7月

落葉高木。

白い4枚の総苞が花弁のように見える。果実は集合果で直径2cmほど、淡紅色のサッカーボールのような形をしている。熟すと甘い。



ヤマハギ 山萩

科名: マメ科

花期: 7月～9月

落葉低木。

山野に自生する。一般的にハギと言うとヤマハギのこと。枝垂れるのは園芸種のミヤギノハギでヤマハギは直立する。



クサギ 臭木

科名: シソ科

花期: 7月～9月

落葉小高木。

名前は葉に悪臭があることから。淡紅紫色の萼の先に白い花をつける。花には芳香あり。藍色の実と赤い萼の組み合わせがよく目立つ。



イイギリ 飯桐

科名: ヤナギ科

花期: 4月～5月

落葉高木。

小さい黄緑色の花が集まった円錐花序が垂れ下がる。落葉後も赤い実が残ってよく目立つ。葉で飯を包んだのでこの名がついた。



コメウツギ 小米空木

科名:バラ科

花期:5月~6月

落葉低木。

5mm程度の黄白色の花を多数つける。葉は中浅裂して重鋸歯を持つ。花が割れた米を連想させることから名付けられた。



ヒメコウゾ 姫楮

科名:クワ科

花期:5月

落葉低木。

雌雄同株。雄花は径1cmの球形。雌花は上部の葉腋につき、径5mmの球形で赤紫色の花柱が目立つ。和紙の原料。



ウメガサソウ 梅笠草

科名:ツツジ科

花期:6月~7月

常緑の草状小低木。

高さ5~10cm。葉には鋸歯があり、花茎の先に梅に似た白い花を下向きにつける。浅間山では、最近久しぶりに確認された。

